

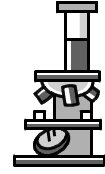
理 科 (Science)

(1) まとめをする

学習した内容を自主学習ノートにまとめます。教科書や理科ノート、自分で買った参考書・問題集で、解説などを見ながら要点を書き出してみましょう。

実験の注意点や実験結果も大切です。実験や観察を思い出しながらノートに書き出します。図や表、グラフも必要に応じて上手に活用しましょう。

自分なりの言葉でまとめることが大切です。



(2) 問題を解く(とにかく解く)

理科の授業があった日は、理科ノートの「整理」や「教科書の確認」を解いてしっかり復習をしましょう。

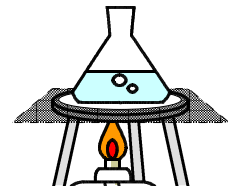
単元の終わりには「探究の理科」を解いておきましょう。探究の理科はいつも定期テストの後で提出します。

問題集を自主学習ノートに解いてもかまいませんが、色々なものに手をつけると、どれも中途半端になってしまいます。一冊をきちんと仕上げるようにしましょう。

(3) 重要語句をおぼえる

最低限、教科書に太字で書かれた重要語句については、その意味まできちんと覚えます。楽をして覚える方法はないので、覚えるまで繰り返し学習しましょう。

一回目は語句とその意味、二回目以降は語句だけでもかまいません。漢字の間違いにも注意して繰り返し覚えましょう。



(4) その他に

「これは何だろう!?', 「なぜだろう!?'という気持ちを持つ。

理科は自然の事物や現象、またはその仕組みについて考える教科なので、頭の中に自然や自然現象の正しい姿が入っていれば、理科の課題や問題について正しく考えることができます。

学校の授業を通じて頭の中にその自然のイメージを築き上げていきますが、中学校で扱われる内容の多くは身の回りにあるものです。普段の生活の中で身の回りの事物をしっかりと見ていることが、自然というものを正しくとらえることにつながっていきます。家庭生活においても部活動においても、「これは何だろう。」「なぜかな。」「どうしたらいいかな。」という気持ちを持ち、身の回りの事物や現象をしっかりと見極める態度が、理科の力を大きく伸ばすことにつながります。